

「数理のひろがり」期末試験問題兼解答用紙

(2006年度, 前期 水曜 1:2 校時), 試験時間 60 分

注意 1. 解答には途中の経過も記すこと. 最終的な答のみでは得点できない.

注意 2. 学生証, 記名用のペン, 鉛筆またはシャープペンシル, 消しゴム以外は机の上に置かないこと.

1 (20 点) 5 の剰余系 $Z_5 = \{\bar{0}, \bar{1}, \bar{2}, \bar{3}, \bar{4}\}$ を使って 5 次のアフィン平面 $Z_5 \times Z_5$ を考へる. このなかの 2 直線

$$\bar{3}x + \bar{1}y = \bar{1}, \quad \bar{4}x + \bar{3}y = \bar{2}$$

の共有点があれば求めよ.

2 (選択問題, 30 点) つぎの (1), (2) のどちらか 1 問を選んで答へよ.

(1) 10 進法の循環小数 $0.\dot{8}1\dot{4}$ を 3 進法の小数で表せ. 循環小数になる場合は循環する部分がはつきりわかる様に記せ.(2) 7 の剰余系 $Z_7 = \{\bar{0}, \bar{1}, \bar{2}, \bar{3}, \bar{4}, \bar{5}, \bar{6}\}$ を使って 7 次のアフィン平面 $Z_7 \times Z_7$ を考へる. このなかの 2 直線

$$\bar{2}x + \bar{1}y = \bar{3}, \quad \bar{3}x + \bar{4}y = \bar{1}$$

の共有点を求めよ.

← 選択した問題番号 (1), (2) を記入せよ.

学部	学科 課程	学籍番号		氏名		点
----	----------	------	--	----	--	---

3 (20点) 5 次の魔方陣をひとつ作れ.

4 (30点) 体 $F_4 = \{\bar{0}, \bar{1}, z, \bar{1}+z\}$ (但し $z^2 = \bar{1}+z$) によつて作られる4次のアフィン平面 $F_4 \times F_4$ の中の, 平行な直線4本ずつの2組 (L_0, L_1, L_2, L_3) と (L'_0, L'_1, L'_2, L'_3) (下記のリストを見よ) を使つて4次の魔方陣を作れ. ただし, これらの直線をどの様に利用したかをきちんと述べること.

F_4 における積

\times	$\bar{0}$	$\bar{1}$	z	$\bar{1}+z$
$\bar{0}$	$\bar{0}$	$\bar{0}$	$\bar{0}$	$\bar{0}$
$\bar{1}$	$\bar{0}$	$\bar{1}$	z	$\bar{1}+z$
z	$\bar{0}$	z	$\bar{1}+z$	$\bar{1}$
$\bar{1}+z$	$\bar{0}$	$\bar{1}+z$	$\bar{1}$	z

$$\left\{ \begin{array}{l} L_0 : y = x \\ L_1 : y = x + \bar{1} \\ L_2 : y = x + z \\ L_3 : y = x + (\bar{1} + z) \end{array} \right.$$

$$\left\{ \begin{array}{l} L'_0 : y = zx \\ L'_1 : y = zx + \bar{1} \\ L'_2 : y = zx + z \\ L'_3 : y = zx + (\bar{1} + z) \end{array} \right.$$